



東多久町に

金方堂松本工業株式会社が進出決定！

さんぽうどうまつもとこうぎょう

金属容器の製造・販売を行う、金方堂松本工業株式会社（本社 東京都）の東多久町古賀一区（葉隠素麵跡地）への進出が決まり、5月22日に市役所で進出協定締結式を行いました。

同社は、1905年創業の老舗金属容器メーカーで、主に海苔缶や菓子缶の製造を行っています。同様の製品を製造している金属容器メーカーでは九州初進出で、業界トップクラスのシェアを誇ります。

工場は、敷地面積11,727㎡に延床面積約3,306㎡の建物を建設し、今年8月に着工、

来年8月操業開始予定です。

従業員については、操業開始までに地元から22人の新規雇用に計画されています。

今回の進出にあたり、横尾市長は「100年を超える努力・

創意工夫の技で多久市でも活躍いただけることに感謝申し上げます」とあいさつ。竹内雅夫代表取締役社長は「多久市を九州での生産・販路の拠点としたい。また自慢の製缶技術を現状にとどめることなく発展させながら、九州に広めたいです」と話されました。



▲進出協定の締結を終えて、握手を交わす竹内雅夫代表取締役社長（右）と横尾俊彦市長（左）

■問い合わせ

商工観光課 企業誘致推進係

☎ 75-2117

南三陸通信



多久市は、東日本大震災からの復興支援として、宮城県南三陸町へ長期的に技術職員の派遣を行っています。現在派遣している白武和磨主査（4月～）から、便りが届きましたので紹介します。

南三陸町の復興市街地整備課復興都市整備係に配属されました。担当業務は、被災した低地部の区画整理事業です。南三陸町職員と他自治体からの派遣職員の合計8人で業務に励んでいます。

区画整理事業を含む南三陸町復興事業は、UR都市機構と協力協定を締結し、複数にわたる事業の設計、工事検討、工程管理等、多岐にわたる協力を得ながら進めています。区画整理事業は9月の事業認可と来年秋季の仮換地指定を目標に、みんなで頑張っています。

市長コラム

温故創新

Message for citizen

健診って受ける？ 今でしょ！

市長 横尾俊彦

梅雨到来です。ほどよい雨は良いですが、過剰な雨は困ります。市も災害対策本部訓練、防災パトロールを行い、安全安心に万全を期します。

昨年7月13日の大雨は北部九州豪雨と命名される酷い雨でした。これからが雨模様にも気の抜けない季節。お互い注意して備えを高めましょう。

安全安心といえば健康面も大切。「健康は全ての基本」です。健康増進には早期発見・早期治療が大事ですので、健診をお勧めしています。6月12日から集団健診も始まります。「自分の健康を守る機会」と考えて、受診して下さい。待っていても好転はしません。早めの対応が肝心です。

秋には、がん検診も行います。がんも早期発見できたら、少ない体の負担で治療が可能です。腹腔鏡手術ではおなかに小さな穴を5つほどあけて手術し、跡もほとんど残らず、10日程で退院可能とも聴きます。医療技術は日々進歩しています。健康維持には健診が不可欠です。健診に行く？ 行かない？ いつ行く？。答えは「今でしょ」。

それから日々の食習慣が大事です。「私たちの健康は私たちの手で」を掲げ、食生活改善推進員の皆さんが市内で貴い活躍をされています。その活動に減塩奨励、食事バランスなどがあります。塩分の多い食習慣は血管を傷め、動脈硬化を進行させ、大病に繋がります。「いやだ、そんなの」。そうです。だから食事にもよく注意して下さい。

あなた自身が本気で健康になろうととして行動するしか最善策はありません。お願いします。